



第5回目【食べさせてはいけないもの】

私達が普段食べているものが、ワンちゃんやネコちゃんにとって危険な食べ物となることがあります。食べることで体調が悪くなるものや、中毒を起こすもの、中には最悪の場合、死に至るものもあります。

皆さんも、一度は調べたことがあるのではないのでしょうか。代表的なものを下に載せましたので、この機会にもう一度おさらいをして、安全でおいしいものをワンちゃんネコちゃんに食べてもらいましょう！

危険性 高



…ワンちゃんに危険なもの



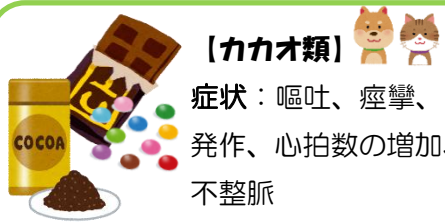
…ネコちゃんに危険なもの



【ネギ類】

症状：貧血、血尿、衰弱
胃腸障害、
心拍数の増加

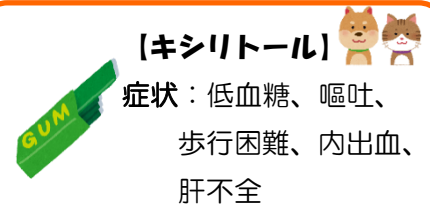
犬より猫の方が危険性は高い。
量によっては死に至る場合もある。
その子によって致死量は異なる。



【カカオ類】

症状：嘔吐、痙攣、
発作、心拍数の増加、
不整脈

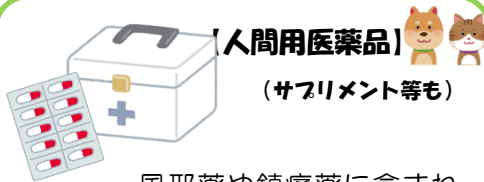
カカオの成分であるテオブロミン
が中毒の原因となり、症状がでる。
カカオ含有量の高いビターチョコ
レートほど危険性は増す。ビターチ
ョコレートの致死量は、体重1kg
あたり約20g。
小型犬の場合は、板チョコ1枚で
致死量となる可能性がある。



【キシリトール】

症状：低血糖、嘔吐、
歩行困難、内出血、
肝不全

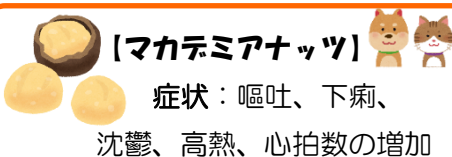
甘味料の一種で、ガムや歯磨き粉
にも含まれる。ガムによって含有
量は異なるが、小型犬や仔犬の場
合、キシリトールガム2枚で命
を落とす危険がある。



【人間用医薬品】

(サプリメント等も)

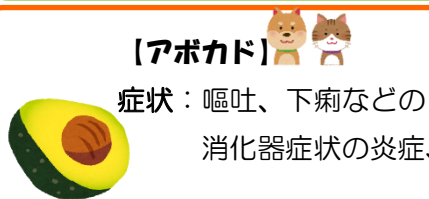
風邪薬や鎮痛薬に含まれ
る成分の中には中毒を起こすもの
がある。(アセトアミノフェン、イ
ブプロフェンなど) 人間用の薬を
獣医師の許可なく与えるのは危険
なので、誤飲があった場合は症状
がなくても病院に相談を。薬は必
ず動物病院で処方されたものをあ
げましょう。



【マカデミアナッツ】

症状：嘔吐、下痢、
沈鬱、高熱、心拍数の増加

犬と猫の両方で有害とされている
が、実際に中毒の報告があるのは
犬のみ。



【アボカド】

症状：嘔吐、下痢などの
消化器症状の炎症、

アボカドに含まれるペルジンが中
毒症状の原因となる。果実だけで
なく、種や葉、樹皮にも含まれる。
品種によって含有量が異なり、日
本のスーパー等で売られているア
ボカドはペルジンの量が非常に多
いので、絶対に与えないようにしま
しょう。



【ブドウ、レーズン】

症状：嘔吐、下痢、
腹痛、腎不全

重度の場合は腎不全か
ら死亡してしまうケースもあ
る。
いくつか説があるが、なんの成
分が原因かはまだ正確には判明
していない。その子によって致
死量は異なる。
ブドウは皮ごと食べた場合に、
より危険性が高まると言われて
いる。

ブドウ、レーズンと同様にまだ分かっていないことが
多い。その子によって致死量は異なる。

危険性 中

【ニンニク】



症状：

嘔吐、血尿、衰弱
心拍数の増加



玉ねぎと同じ成分が含まれているが、量は少ないため比較的症状は軽いですが、大量に食べた場合は危険。

【アワビ、サザエ】



症状：

光線過敏症を
発症する



耳に症状が現れることが多く、腫れやかゆみが生じ最悪、壊死してしまう。主に猫がなりやすい。

【スルメ】



症状：

消化管障害、
元気消失



胃で水分を含み膨張し、腸に詰って閉塞を起こすことがあるので危険。喉につまる危険性もある。

【生の豚肉】



症状：

寄生虫
(トキソプラズマ)
感染の可能性



感染すると体重減少や下痢、目の障害などが起こる。猫への感染は人へ感染する危険を高めるので注意。

【生の牛肉】



症状：

寄生虫や細菌
感染の可能性



豚肉と同じく、寄生虫や病原性の細菌感染の可能性があるので、与える場合は加熱してからにしましょう。

【硬い骨】



症状：

消化管障害、
喉の炎症、嘔吐



鶏の骨や鯛の骨など、とても硬く鋭いため、喉や消化管を傷つける恐れがあり危険。

【アルコール】



症状：

嘔吐、下痢、
震え、昏睡等



中枢の神経に作用し、アシドーシス（意識障害や血圧低下、痙攣、呼吸障害）が起こる可能性がある。

【カフェイン】



症状：

心臓や神経の
異常



カフェインは中枢神経興奮作用があり危険。てんかんや痙攣を起こす体質の場合は発作の原因に。

危険性 低

【生卵】



症状：下痢
皮膚炎、結膜炎

卵白に含まれる成分がビタミンの一種を分解してしまう。加熱すれば問題ない。

【イカ・タコ・貝類】



症状：
食欲低下、嘔吐

注：全て生の場合

過食するとビタミンB1欠乏症の恐れ。加熱すれば安全だが消化には悪い。

【青身魚】



症状：
皮膚の下にしこりができる

慢性的に過食を繰り返すと体内の脂肪が酸化し、黄色脂肪症（イエローファット）になる。

【ピーナッツ】



症状：肥満、
糖尿病、腎臓病、
結石（泌尿器症候群）

50%は油分できている。マグネシウムを多く含んでいる為、結石の原因にもなる。

【ほうれん草】



症状：
結石

シュウ酸が結石の原因になる。茹でることでシュウ酸を減らすことができる。

【牛乳】



症状：
下痢

危険な食品ではないが、犬や猫は乳糖を消化する酵素がないため消化できず、下痢を起こす場合がある。

【鯉節・にぼし】



症状：
下痢、泌尿器症候群

マグネシウムを多く含むため、食べ続けると結石の原因になる可能性がある。

【消化に良くないもの】



トウモロコシやナッツ、こんにやくなどは、消化不良を起こし、下痢を起こす可能性がある。

【ミネラルウォーター】



症状：
下痢、
泌尿器症候群

種類にもよるが、マグネシウムを多く含むものがあり、他のミネラルも多い場合がある。

【ドッグフード】



症状：
失明、
拡張型心筋症

猫に必要なタウリンが含まれていない為、継続的に食べるとタウリン欠乏症になる。